

長野県農畜産物（令和6年産）の輸出額（県推計値）を公表します

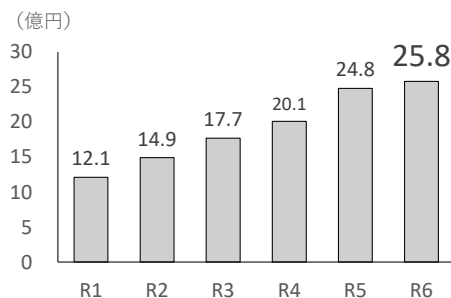
本県の、令和6年産の農畜産物の輸出額は25億8,392万円（前年比104%）と推計され、平成25年の調査開始以来、最高額になりました。

（令和5年産：24億7,969万円 → 令和6年産：25億8,392万円）

1 県産農畜産物の輸出額 25億8,392万円

- 主な輸出先は、台湾（12億8,547万円）、香港（7億8,198万円）で、この2地域で全体の80%を占めています。
- 前年と比べ、シンガポール、タイが大幅に増加し、その他に含まれる東南アジア諸国なども増加傾向です。
- 品目別では、ぶどうが13億4,023万円と最も多く、全体の52%を占めています。

県産農畜産物輸出額の推移



（表1）輸出先別輸出額 (百万円)

国・地域	R6年 (構成比)	R5年	前年比
台湾	1,285 (49.7%)	1,277	101%
香港	782 (30.3%)	748	105%
アメリカ	119 (4.6%)	132	90%
シンガポール	105 (4.1%)	70	150%
タイ	32 (1.2%)	13	246%
オーストラリア	2 (0.1%)	4	50%
その他	258 (10.0%)	235	110%
合計	2,583 (100%)	2,479	104%

（表2）品目別輸出額 (百万円)

品目名	R6年 (構成比)	R5年	前年比
ぶどう	1,340 (51.9%)	1,283	104%
米	392 (15.2%)	308	127%
市田柿	289 (11.2%)	271	107%
牛肉	219 (8.5%)	230	95%
きのこ	58 (2.2%)	167	35%
もも	158 (6.1%)	101	156%
花き	40 (1.5%)	39	103%
その他	87 (3.4%)	80	109%
合計	2,583 (100%)	2,479	104%

注）輸出額は JA グループ及び長野県農産物等輸出事業者協議会（輸出に意欲的な生産者や事業者等により構成し、海外への販路開拓・拡大に取り組んでいる組織）への聞き取り結果を基に県（農政部）が推計したものの

2 国・品目別特記事項

- ぶどうは、需要の高いシンガポール向けを中心に輸出額がやや増加しました。（前年比104%）
- 市田柿は、春節の贈答需要に対応できたことから輸出額がかなり増加しました。（前年比107%）
- ももは、需要の高い香港・台湾向けを中心に輸出額が大幅に増加しました。（前年比156%）
- きのこは、国内需要の高まり等の影響で輸出額が大幅に減少しました。（前年比35%）



しあわせ信州

（問合せ先）

担当：農政部農業政策課農産物マーケティング室
マーケティング係 戸沢、羽根

電話：026-235-7216（直通）
026-232-0111（代表） 内線 3025

FAX：026-235-7393

E-mail marketing@pref.nagano.lg.jp